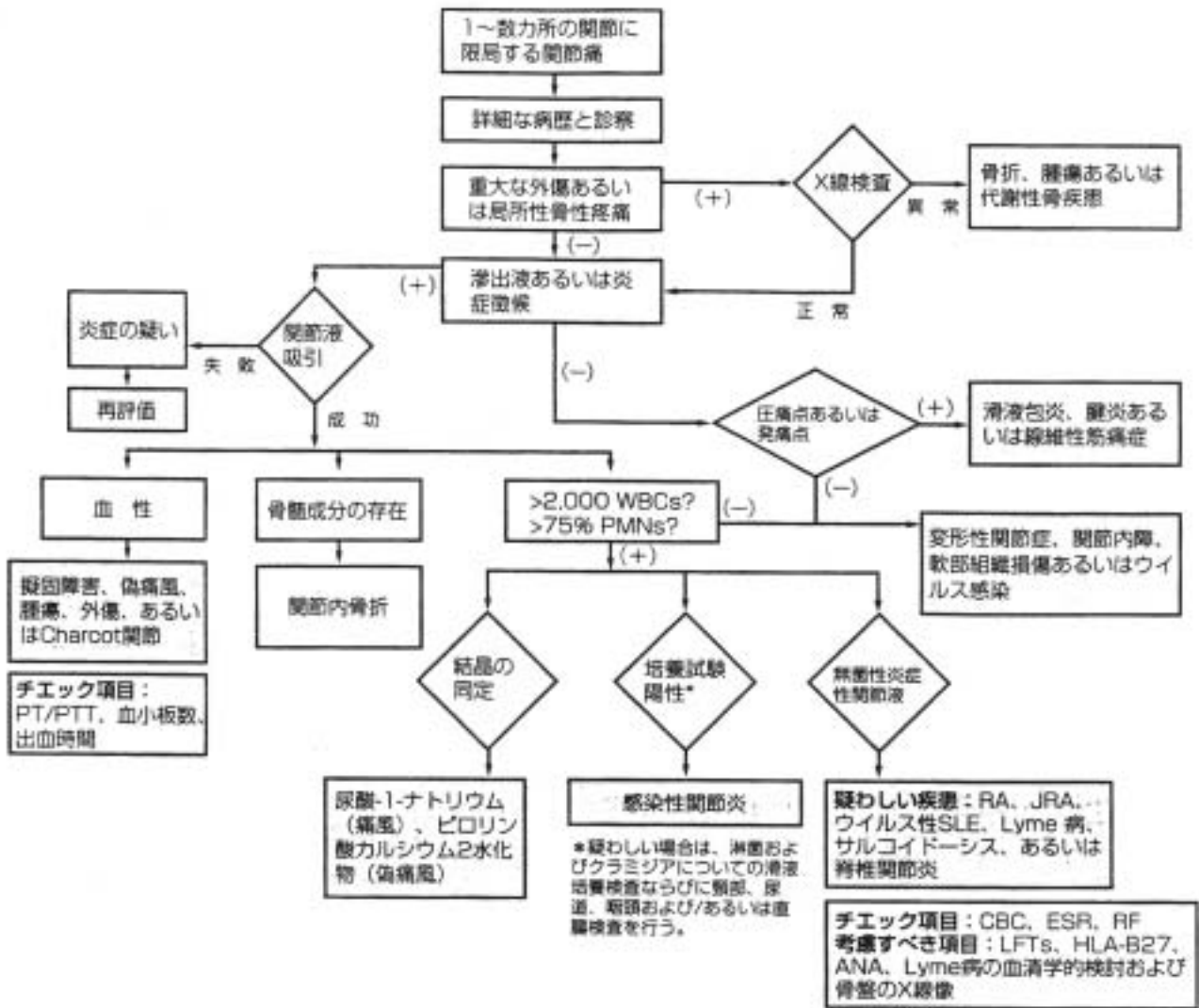


リウマチ性鑑別診断のすすめ方 — 整形外科医の立場から —

近藤 正一 近藤リウマチ・整形外科クリニック
(2001年、第2回博多リウマチセミナー)

1. 関節痛を主訴とした患者の鑑別診断

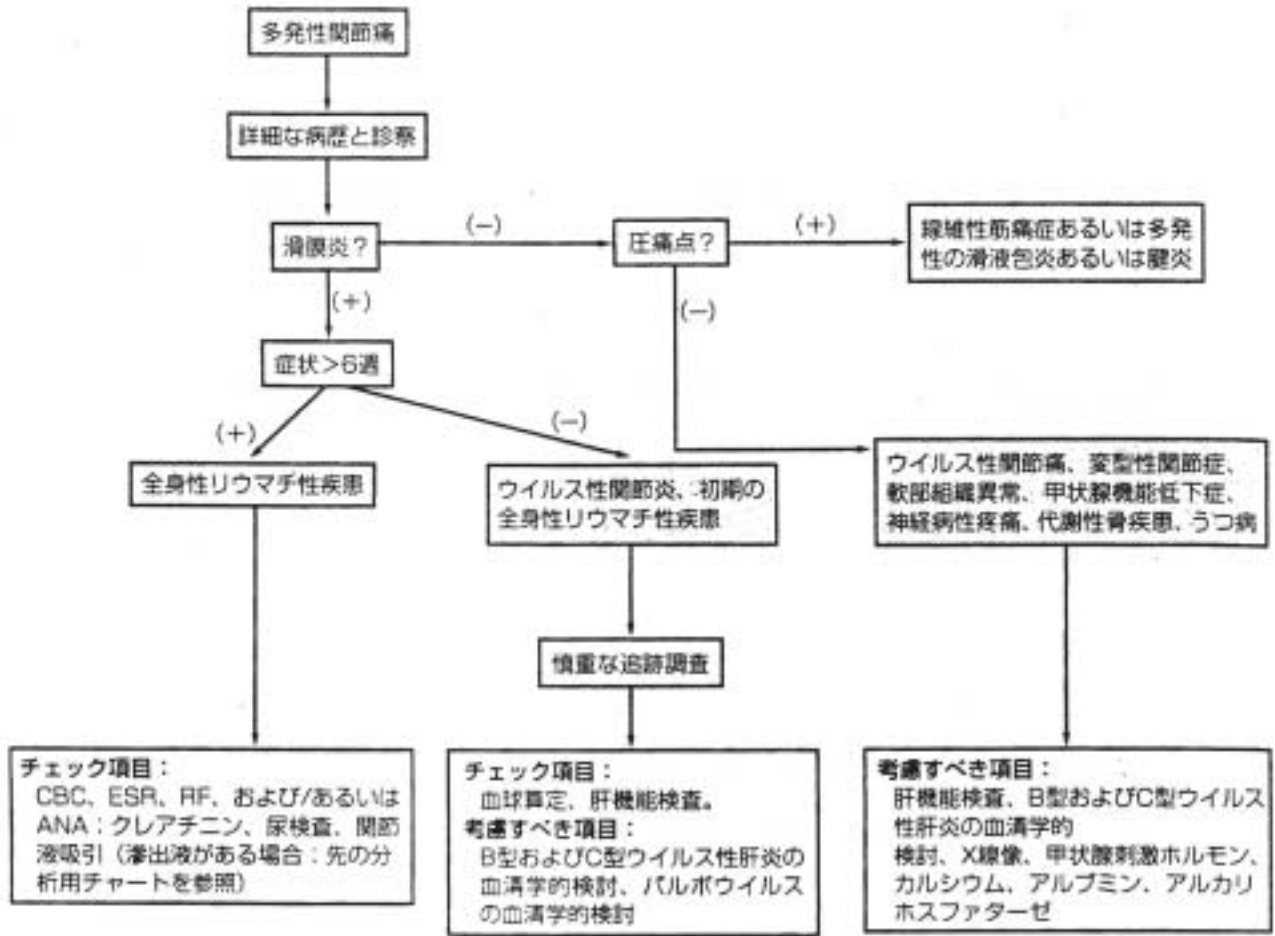
1) 単関節あるいは少数関節痛の症例¹⁾



WBCs：白血球、PMNs：多形核好中球、PT：プロトロンビン時間、PTT：部分トロンボプラスチン時間、RA：慢性関節リウマチ、JRA：若年性関節リウマチ、SLE：全身性エリテマトーデス、CBC：全血球算定、ESR：赤血球沈降速度、RF：リウマトイド因子、LFTs：肝機能検査、ANA：抗核抗体

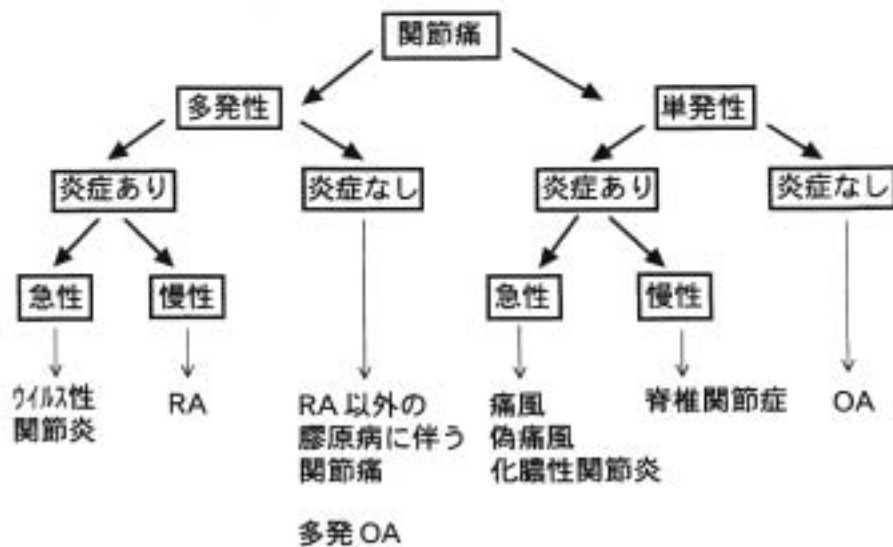
RAの日常診療に役立つ知識

2) 多関節痛の症例¹⁾



CBC: 全血球算定, ESR: 赤血球沈降速度, RF: リウマトイド因子, ANA: 抗核抗体

3) 簡更法 (著者考案)



2. 特にRAとの鑑別を要する疾患

1) 全身性変形性関節症 (多発性 OA)²⁾

3関節以上のOAは全身性OA (generalized OA)。

全身性OAにはしばしば結節性OA (Heberden結節, Bouchard結節)を伴う。

中年から初老の女性に多い。遺伝要因あり。

好発部位は膝、手指DIP、PIP、第1CM関節、趾第1MTP、股肘である。

2) 回帰性リウマチ

1944年にHenchらが提唱。³⁾

再発性の急性関節炎で1~3日で消失する。発作のない無症状期間が数日から数ヶ月ある。手指、手、膝に好発。

20歳~60歳の男女に均等に発症。10%が自然寛解。30~40%がRAへ移行。

3) 単関節型リウマチ⁴⁾

比較的男性に多く、膝などの大関節に発症。

リウマチ因子陰性が多い。

鑑別診断が重要で、結核性関節炎、脊椎関節症、偽痛風、OAなどの除外診断が必要。

長年の経過でRA移行が約1/3。

頰椎病変 (C1の前方垂脱臼)の合併報告あり。

4) 脊椎関節症⁵⁾

RA因子陰性で脊椎関節症をきたす疾患群。強直性脊椎炎、乾癬性関節炎、Reiter症候群、腸炎に伴う関節炎などがある。

本症は付着部炎や仙腸関節炎を伴い、発症にはHLA-B27や何らかの細菌感染との関連が疑われている。

特徴	疾患				
	強直性脊椎炎	反応性関節炎 (Reiter症候群)	若年性脊椎関節炎	乾癬性関節炎*	腸炎を伴う関節炎†
好発年齢	若年層<40	若年~中年層	幼児期、8~18歳	若年~中年層	若年~中年層
男女比	一般に男性のほうが3倍多い	男性に圧倒的に多い	男子に圧倒的に多い	ほぼ同率	ほぼ同率
通常の発症様式	緩慢	急発	様々	様々	緩慢
仙髕骨炎あるいは脊椎炎	事実上100%	<50%	<50%	≒20%	<20%
仙髕骨炎の左右対称性	対称	非対称	様々	非対称	対称
末梢関節病変	≒25%	≒90%	≒90%	≒95%	しばしば
眼病変†	25~30%	一般的	20%	時々	時々
心病変	1~4%	5~10%	まれ	まれ	まれ
皮膚あるいは爪病変	なし	一般的	少ない	事実上100%	少ない
病因としての感染物質の役割	不明	あり	不明	不明	不明

* 乾癬患者の約5~7%に関節炎が発症し、乾癬性脊椎炎は全乾癬性関節炎患者の約5%とされている。

† 慢性炎症性腸疾患を伴う

‡ 反応性関節炎では圧倒的に結膜炎が多く、上記の他の疾患では急性前部ブドウ膜炎が多い

3. RA 鑑別診断のポイント

1) RA 以外の膠原病を疑う時

- 多関節痛のみで関節腫脹が無い
- 白血球数が少ない
- 炎症マーカーに比し関節症状が軽い
- 関節外症状の合併（レイノー、乾燥症状…）

2) 脊椎関節症を疑う時

- 若い時からの持続性の腰背部痛
- 非対称性または少数の関節炎
- 仙腸関節（殿部）の痛み
- アキレス腱か足底腱膜の附着部痛
- 尿路感染あるいは急性下痢の先行

【文献】

- 1) ACR: Guideline for the initial evaluation of adult patient with acute musculo skeletal Symptoms. Arthritis Rheum., 39 : 1-8, 1996.
- 2) アメリカ関節炎財団編 リウマチ入門 11 : 298-305, 1999.
- 3) Hench, et al.: Palindromic rheumatism, a new oft recurring disease of joints apparently producing no articular residues. Arch. Intern. Med., 73 : 292-321, 1944.
- 4) 塩川 優一ほか. リウマチ学, 同文書院, 東京, 383-387, 1997.
- 5) アメリカ関節炎財団編. リウマチ入門 11 : 246-267, 1999.